



発行：香川県中讃農業改良普及センター 〒765-0014 善通寺市生野本町一丁目1番12号
TEL 0877(62)1022 FAX 0877(62)1553
Email chusannokai@pref.kagawa.lg.jp

HPはこちらから→



中讃管内の
新しい動き

地域計画策定に向けた話し合い活動の取組み (地域の農地の維持・保全と最適な利用に向けて)

「人・農地プラン」が「地域計画」に変わります。
10年後の農地利用を「目標地図」に、
地域の将来方針等を「地域計画」にまとめます。

令和7年3月末
までに策定

《地域計画とは》

地域の将来の農業の在り方、将来の農地の効率的かつ総合的な利用に関する目標等を定めたものです。

《目標地図とは》

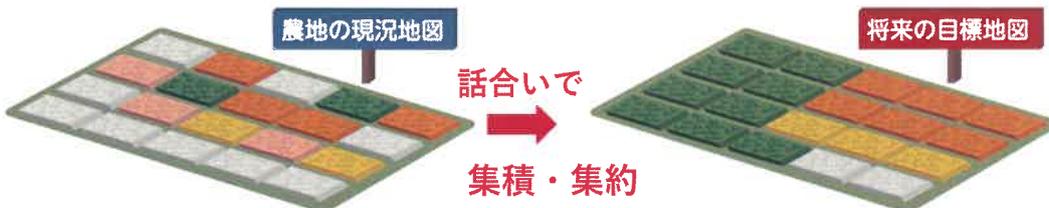
将来の地域の農地利用について、一筆ごとに「だれ」が耕作するのかを具体的に明記するものです。将来の農地利用を地域ぐるみで考え「だれ」が耕作するのか、目標地図にまとめて見える化し、実行するために必要となります。

地域の農地の維持・保全と地域農業を守るため、 まずは話し合いから！

ほ場ごとに10年先に「だれ」が耕作するのかを整理しましょう。

地域の農地や農業を守るための3つの取組み(話し合うポイント)

- ①農家の経営の継続や新規就農者の確保
- ②地域ぐるみの人づくり・農地の有効活用・保全管理などの取組み
- ③地域を支援する国・県・市町農業施策への取組み



※集積とは、農地の面積を広げていくこと。集約とは、農地を寄せ集めて、まとめること。

地域ぐるみの話し合い



目標地図素案をもとに座談会開催の様子

- ★農業利用を進める区域では、一筆ごとに将来の耕作者は「だれ」なのか、農地の集積・集約化について考えましょう。
- ★様々な努力を払っても農業上の利用や農地として維持することが困難な区域では、農地の保全等を含め、総合的に考えましょう。

個々では解決が困難な課題を、地域ぐるみで解決できるよう、「意見の一致」を図り、地域計画で明文化し、将来ビジョンに向けて地域で取り組むために話し合いましょう。

中讃地区農業後継者クラブで ともに活動しませんか。

中讃地区農業後継者クラブは、現在、中讃地区の3市5町の若手農業者47名が加入しています。クラブ員の「是非実施したい!こんな講師から話を聞きたい!」を実現できるよう各種研修会を実施するとともに、年5回程度の定例会によりクラブ運営や会員同士の交流を行っています。



後継者クラブの活動が最優秀賞を受賞



中国四国農業青年クラブ連絡協議会が主催した中国四国地域若い農業者のつどいにおいてプロジェクト発表に臨み、令和3年度から取り組んでいる土づくり活動でみごと最優秀賞を受賞し、令和6年3月に開催される全国大会への出場を決めました。

土づくりに向けた継続した土壌分析及び検証に加え、近年の資材・肥料高騰等への対策及び環境に配慮した持続可能な農業について考える活動が評価されました。

中讃地区農業後継者クラブの主な活動を紹介します。 ※中讃地区農業後継者クラブは新規クラブ員を随時募集中です。

定例会



定例会の様子



定例会では、クラブ員が抱えている課題に関するテーマを設定し、視察先や研修の講師の案を決定します。後継者クラブには、就農して数年の新規就農者も多く加入しており、定例会後は自らの経営内容や悩みについてクラブ員に相談し、情報共有を図っています。

学校連携授業



学校連携授業の様子



農業経営高校1年生を対象に、農業の魅力を伝え、地域農業への理解を深めることを目的として、クラブ員が自らの農業経営の内容や農業についてどのように考えているかを中心に発表を行いました。発表後には、各クラスに分かれて生徒からの多くの質問に答えることで、意見交換を行いました。

先進地視察研修



視察研修の様子



令和5年度は、鳥取県のトゥリーアンドノーフ株式会社を訪問し、普段見ることのない中山間地区における飼料用米や大豆などの大規模経営を視察しました。また、SNSを通じた情報発信についても説明を受け、自らの経営を発信していく重要性についても学びました。

農業経営研修会



講演風景



令和5年度は、株式会社農業総合研究所の及川智正氏を講師に招き、これからの物流の変化に経営者として対応すべきことをテーマに講演していただきました。講演後はクラブ員との意見交換の場を設け、物流から逆算した生産活動について意見を交わしました。

土づくり研修会



研修会の様子



中讃地区農業後継者クラブでは、資材・肥料高騰を課題として、令和3年度から土壌診断に基づいた土づくりに取り組んでいます。土づくり研修会では、土壌診断の結果を参考に、施肥設計についてどのような改善が必要か農業革新支援センター土壌担当からの助言により検討しました。

中讃地区農業後継者クラブに 加入しませんか。

加入を希望する方は、香川県中讃農業改良普及センターにご連絡ください。

(中讃地区農業後継者クラブ担当まで)



受賞おめでとうございます

◆農事功勞表彰 農業功勞(香川県農業推進会主催)

大西 修(丸亀市)

県カーネーション協会に長年在籍し、平成14年から24年までの12年間副会長として生産組織の運営、強化に努めるとともに、香川県農協丸亀支部青壮年部の会長や丸亀市経営者協議会花き部会の副会長を務める等、地域のリーダーとしても活躍してきた。自身の経営としてはカーネーションを中心に、アスパラガスと水稲を組み合わせた複合経営を行っている。

河井一枝(丸亀市)

農業経営においては、青ネギ、アスパラガス、キャベツを中心とした複合経営を行っており、機械化体系や雇用導入による労働軽減、パソコンによる経営分析を行い経営改善に努めた。平成16年8月に実施した家族経営協定の締結をきっかけに、後継者への経営移譲を計画的に進め、平成21年1月に経営を移譲している。

◆第87回香川県畜産共進会(香川県農業協同組合主催)

農林水産大臣賞	第3部 肉豚	株式会社 STPF 太田宗一郎(綾川町)
農林水産省畜産局長賞	第3部 肉豚	農事組合法人 大和畜産組合 小泉貴明(綾川町)
中国四国農政局長賞	第1部 乳用牛	有限会社 古本農産 古本憲伸(坂出市)
同上	第2部 肉用種牛	塩田 薫(善通寺市)
同上	第4部 肉牛	別所重章(丸亀市)

◆第8回「おいでまい」品質・食味コンクール

(香川県、香川県農業協同組合中央会、香川県農業協同組合、「おいでまい」委員会主催)

香川県知事賞	川染孝子(綾川町)
「おいでまい」委員会会長賞	宮武 寛(丸亀市)、山下 一(まんのう町)
香川県農業協同組合中央会代表理事会長賞	木下和彦(坂出市)
奨励賞	大林吉美(綾川町)、川染允利(綾川町)、松井輝善(綾川町) 稲毛孝則(丸亀市)、堀尾好邦(まんのう町)

◆令和5年度中讃地域「おいでまい」品質・食味コンクール

(中讃地域おいでまい生産者組合主催)

最優秀賞	農事組合法人 栗熊日の出ファーム(丸亀市)
優秀賞	宮武 寛(丸亀市)
優良賞	農事組合法人 あぐり四歩市(綾川町)、松井輝善(綾川町)
地区奨励賞	福家重夫(綾川町)、稲毛孝則(丸亀市)

◆令和5年産中讃地域麦作コンクール

(香川県中讃農業改良普及協議会、香川県農業協同組合主催)

香川県農政水産部長賞

個人:井脇弘幸(綾川町)、花岡宏行(まんのう町)

集団:農事組合法人 茶円原宮農組合(綾川町)、集落営農組合 苗田西(琴平町)

香川県中讃農業改良普及協議会長賞

個人:中村俊一(坂出市)、杉本敬太郎(善通寺市)

集団:農事組合法人 鎌手宮農組合(綾川町)、農事組合法人 農地管理サービス栗熊(丸亀市)

香川県農業協同組合中讃営農センター長賞

個人:川染常男(綾川町)、岩崎道彦(丸亀市)

集団:農事組合法人 アグリカワツ(坂出市)、農事組合法人 アグリネット筆麦(善通寺市)

※順不同で、敬称は省略させていただいております。